

菊の会の歩み

菊の会は、昭和63年(1981)に当時の交通公社トラベランド興業の有志によって「JTB東京菊花会」として出発し、昭和63年(1988)5月にOB会関東支部同好会の一つとして発足して、平成、令和と変遷し、すでに35年目の歴史を歩んでいるところであります。

また、毎年11月には菊の会の展示・鑑賞例会「菊花展」として菊花を飾っておりますが、発足創設者の阿部敏夫さん、JTB社長をはじめ関連会社の役員の方々から寄贈されたトロフィーがあります。

これらに金賞、特別賞と位置付けられたトロフィーには、それぞれ開催年度、菊花名、受賞者名を書いたペナントを下げておりました。

このトロフィーには、10年を一区切りとしてペナントと同じ内容を彫刻したパネルを取り付けて、過去の努力を褒めたたえているところでもあります。

丹精こめた菊花は、毎年作品展においていただいたお客様と会員の方々には、多少でもこころの癒やしを差し上げられたのかなと思っております。

また、令和2年3年と続いて新型コロナウイルスの影響で作品展が会場開催の取りやめから、菊花展も一緒にホームページ掲載によるお披露目となったことも記録となっております。

なお、菊の会は「菊花展」として飾り台を設け展示していましたが、メンバーに年の功もあって出揃う本数が少なくなり、従前のように飾れなくなったために作品展への出品で一隅に仲間入りするのであります。

以 上